

2008年度第3四半期決算説明資料

2009年1月30日

川崎汽船株式会社

A. 2008年度第3四半期決算概要

- A-1 決算概要
- A-2 業績のポイント
- A-3 部門別業績動向

B. 2008年度業績予想

- B-1 通期業績予想
- B-2 事業別売上高経常利益予想
- B-3 通期業績予想のポイント
- B-4 通期部門別業績予想
- B-5 経営指標の推移

A. 2008年第3四半期決算概要

A-1-1. 決算概要



(単位:億円)

連結業績	2008年度			2007年度	前年同期 増減額	前年同期 増減率
	上期実績	3Q実績	9ヶ月累積	9ヶ月累積		
売上高	7,355	3,181	10,536	9,846	690	7%
営業利益	747	149	897	1,007	▲ 110	-11%
経常利益	751	66	818	1,010	▲ 192	-19%
当期純利益	512	▲ 105	407	680	▲ 273	-40%
為替レート	¥105.67	¥99.17	¥103.50	¥117.57	▲¥14.07	-12%
燃料油価格	\$601	\$483	\$562	\$382	\$181	47%

【前年同期比: 為替変動(1-3Q)14円円高 132億円、燃料油価格変動:\$181/MT高 312億円】

【関係会社株式・投資有価証券評価損: 163億円】

A-1-2. 決算概要 (事業別売上高・経常利益)



(単位:億円)

事業部門		2008年度			2007年度	前年同期 増減額	前年同期 増減率
		上期実績	3Q実績	9ヶ月累積	9ヶ月累積		
コンテナ船	売上高	3,148	1,343	4,491	4,536	▲ 45	-1%
	経常損益	▲ 59	▲ 144	▲ 203	95	▲ 299	-313%
その他海運	売上高	3,642	1,593	5,235	4,473	762	17%
	経常損益	779	196	976	867	108	12%
その他	売上高	565	244	810	837	▲ 28	-3%
	経常損益	31	14	45	47	▲ 2	-4%
合計	売上高	7,355	3,181	10,536	9,846	690	7%
	経常損益	751	66	818	1,010	▲ 192	-19%

A-2. 業績のポイント

< 前年同期比 > 増収(690億円)・減益(192億円)

増収要因:

- 積高増加

(07F3Q累計 1,010億円 08F3Q累計 818億円)

損益変動要因	対前年同期比
為替変動	▲ 132
バンカー変動	▲ 312
市況変動	9
積高変動	289
コスト増減	▲ 162
関係会社	▲ 15
その他	131
合計	▲ 192

減益要因:

- 円高(14円高)
- 燃料油単価(181ドル高)
- コスト増

A-3-1. 部門別業績動向

- コンテナ船 -



< 前年同期比 >

売上4,491億円(45億円減収)・損益 203億円(299億円減益)

- 総積高(247.5万TEU), 前年同期比 +1.5% 増

減益要因

- 円高(14円高)
- 燃料油単価(181ドル高)
- 変動費上昇

運賃率:

前年同期比

1-3Q実績(前年同期比)

往航
復航

北米	欧州	大西洋*	アジア	南北
+8.3%	7.2%	5.1%	+1.9%	+5.7%
+32.7%	+30.4%	+36.2%	+2.8%	+17.6%

*大西洋往航=西航

A-3-2. 部門別業績動向

- ドライバルク -



< 前年同期比 > 増収・減益

- 稼動延トシ 157.2 百万トシ (前年同期比 + 2.0%)

減益要因

- 大型船市況： 9月以降急落。前年同期比、大幅悪化
- 中型船市況： 大型船同様に9月以降急落。足元でも上値は限定的
- 小型船市況： 上位船型に影響を受け急速に悪化

バルク市況 (太平洋ラウンド)	2008年度			前年同期比		2007年度
	第3四半期 実績	第1-3四半期 実績平均	中間時 下期見込	増減額	増減率	第1-3四半期 実績平均
ケープ(170型)	\$8,000	\$96,000	\$20,000	-\$31,000	-24.4%	\$127,000
パナマックス(74型)	\$6,500	\$40,500	\$11,500	-\$21,500	-34.7%	\$62,000
ハンディ(53型)	\$7,000	\$35,000	\$10,250	-\$15,000	-30.0%	\$50,000

A-3-3. 部門別業績動向

- 自動車船 -



< 前年同期比 > 増収・横這い

- 積台数(含む欧州域内): 258.5万台 (前年同期比 + 2.7%)
- 輸送能力増強に伴う積高増加
 - 前年同期比では積高増加となったものの、世界的な景気減速による在庫調整の影響を受け、第3四半期半ばより荷況は急速に悪化
- 南米・カリブ、中近東・アフリカ向け、三国間輸送の荷動きは比較的堅調に推移
- 効率配船により、輸送コストの最小化

A-3-4. 部門別業績動向

- エネルギー資源輸送 -



< 前年同期比 > 増収・増益

液化ガス運搬船 : 第3四半期までに当社関与プロジェクト船 12隻竣工
プロジェクト船 合計 45隻順調に稼動

油槽船: Aframax・クリーン船市況は前年同期比を上回る水準で推移
営業規模拡大 (第3四半期までにLPG船 1隻、Aframax 1隻竣工)
稼動延ト 3,388.2万ト (前年同期比9.3%増)に拡大

(ご参考)

油槽船市況 (WS)	2008年度		2007年度	前年同期比		中間時 下期見込
	第3四半期 実績	第1-3四半期 実績平均	第1-3四半期 実績平均	増減額	増減率	
VLCC (中東/日本)	80	129	70	59	84.3%	110
Aframax (南方/日本)	165	198	120	78	65.3%	210
クリーン7万ト型 (中東/日本)	210	243	135	108	80.2%	230

A-3-5. 部門別業績動向

- その他事業部門 -

(重量物船事業)

< 2007年度期末より連結 >

- 風力発電機、発電所向け変圧器、船用エンジンなどの大型貨物需要や石油精製設備建設需要により高稼働率を維持

(内航・フェリー)

< 前年同期比 > 増収・増益

- 石灰石専用船は安定した輸送量を確保
- 八戸 / 苫小牧フェリー航路では、トラック輸送量増加

(物流事業)

< 前年同期比 > 減収・減益

- 米国向け中国・アジア出し航空貨物、海上貨物ともに取扱量減少

B. 2008年度業績予想

B-1. 通期業績予想



(単位:億円)

(単位:億円)

連結業績	2008年度						2007年度		
	9ヶ月実績	4Q予想	通期予想	中間期公表	増減額	増減率	通期実績	増減額	増減率
売上高	10,536	2,264	12,800	13,800	▲ 1,000	-7%	13,310	▲ 510	-4%
営業利益	897	▲ 127	770	1,080	▲ 310	-29%	1,296	▲ 526	-41%
経常利益	818	▲ 148	670	1,050	▲ 380	-36%	1,259	▲ 589	-47%
当期純利益	407	▲ 107	300	710	▲ 410	-58%	830	▲ 530	-64%
配当	¥13.5	-	¥13.5	¥25	▲¥11.50	-46%	¥26	▲¥12.50	-48%
為替レート(平均)	¥103.50	¥90.34	¥100.21	¥102.83	▲¥2.62	-3%	¥115.29	▲¥15.08	-13%
燃料油価格(平均)	\$562	\$275	\$490	\$550	▲\$60	-11%	\$407	\$84	21%

【2008年度年間配当13.5円、下期0円、連結配当性向29%】

【為替変動(4Q):1円増減 ± 1.5億円、燃料油価格変動:\$10/MT変動 ± 4億円】

B-2. 事業別売上高経常利益予想

(単位:億円)

事業部門		2008年度			中間期 公表	公表増減	2007年度	
		9ヶ月実績	4Q	通期			通期	増減
コンテナ船	売上高	4,491	879	5,370	6,000	▲ 630	5,998	▲ 628
	経常損益	▲ 203	▲ 135	▲ 338	▲ 189	▲ 149	47	▲ 386
その他海運	売上高	5,235	1,079	6,314	6,730	▲ 416	6,158	156
	経常損益	976	▲ 3	973	1,195	▲ 222	1,153	▲ 180
その他	売上高	810	306	1,116	1,070	46	1,155	▲ 39
	経常損益	45	▲ 10	35	44	▲ 9	59	▲ 24
合計	売上高	10,536	2,264	12,800	13,800	▲ 1,000	13,310	▲ 510
	経常損益	818	▲ 148	670	1,050	▲ 380	1,259	▲ 589

B-3. 通期業績予想のポイント

< 公表比 > 減収(1,000億円)・減益(380億円)

< 前期比 > 減収(510億円)・減益(589億円)

(公表比)下期前提:燃料油価格\$500 \$379、為替¥100 ¥95

(前期比)通期前提:燃料油価格\$407 \$490、為替¥115 ¥100

(前年実績 1,259億円 / 08F公表 1,210億円 08F通期予想 672億円)

損益変動要因	対公表比	対前年比
為替変動	▲ 15	▲ 140
バンカー変動	97	▲ 265
市況変動	▲ 236	▲ 259
積高変動	▲ 169	175
コスト増減	▲ 17	▲ 201
関係会社	▲ 14	3
その他	▲ 26	98
合計	▲ 380	▲ 589

【為替変動(下期):1円増減 ±3億円、燃料油価格変動:\$10/MT変動 ±8億円】

B-4-1. 通期部門別業績予想



< コンテナ船 >

売上5,370億円 経常利益 338億円

公表比: 売上 630億円減収・経常利益 149億円減益

前期比: 売上 628億円減収・経常利益 386億円減益

運賃率下落、積高減少 > サービス合理化、燃料消費量等コスト削減効果

概況: 北米、欧州、南米/西岸・東岸、アジア域内などほぼすべての主要航路で荷動き減少、サービス合理化、コスト削減を推進

積高: 312万TEU (計画比 10% 前期比 3%の減少を見込む)

運賃率 :

通期見込み(前期比)	北米	欧州	大西洋*	アジア	南北
往航	+4.3%	16.7%	6.1%	3.5%	2.2%
復航	+31.4%	+16.0%	+33.8%	+2.6%	+12.3%

*大西洋往航=西航

B-4-2. 通期部門別業績予想

<ドライバルク>

公表比、前期比とも

減収・減益

減益要因：不定期船市況の下落、景気減速・信用収縮による貨物量の減少

バルク市況 (太平洋ラウンド)	第1-3四半期 実績平均	第4四半期 見込	下期見込	通期見込	10月時 下期前提	2007年度 通期実績
ケープ(170型)	\$96,000	\$10,000	\$9,000	\$74,500	\$20,000	\$122,250
パナマックス(74型)	\$40,500	\$5,000	\$5,750	\$31,625	\$11,500	\$59,500
ハンディ(53型)	\$35,000	\$2,500	\$4,750	\$26,875	\$10,250	\$49,500

<自動車船>

公表比、前期比とも

減収・減益

減益要因：景気減速による在庫調整の影響を受けた荷動きの悪化

B-4-3. 通期部門別業績予想

< エネルギー資源輸送 >

公表比 減収・減益
前期比 増収・増益

増収要因：船隊規模拡大 (08F中に油槽船5隻、LNG船14隻新造船竣工)

損益変動：Aframax・クリーン船市況が前期比高値で推移 前期比改善

公表前提を若干下回る 公表比悪化

油槽船市況 (WS)	第1-3四半期 実績平均	第4四半期 見込	下期見込	通期見込	10月時 4Q前提	2007年度 通期実績
VLCC (中東/日本)	129	80	80	117	110	94
Aframax (南方/日本)	198	85	125	170	210	151
クリーン7万トン型 (中東/日本)	243	85	148	204	230	148

< 重量物船事業 > 計画通り

08F期中に新造船3隻竣工、運航規模拡大

重量物輸送の船腹需給は引き続き堅調

B-5. 経営指標の推移

	2007年度 実績	2008年度 第3四半期	2008年度 予想	2008年度 計画*	2008年度 公表(中間期)
売上高	13,310億円	10,536億円	12,800億円	13,400億円	13,800億円
経常利益	1,259億円	818億円	670億円	1,210億円	1,050億円
当期利益	830億円	407億円	300億円	780億円	710億円
営業CF	1,412億円	754億円	620億円	-	950億円
(減価償却額)	348億円	298億円	418億円	-	418億円
投資CF	1,455億円	1,348億円	1,460億円	-	1,550億円
フリーCF	43億円	594億円	840億円	-	600億円
自己資本	3,558億円	3,313億円	3,206億円	4,260億円	4,084億円
有利子負債残高	3,297億円	4,263億円	4,313億円	-	4,069億円
自己資本比率	37%	33%	32%	37%	37%
ROE	24%	16%	9%	-	19%
ROA	13%	11%	7%	12%	10%
NET DER	78%	112%	117%	-	86%
有利子負債/営業CF	2.3	4.2	7.0	-	4.3

(注)DER: 第3四半期末129%、2008年度末予想135%